

## New Line up Computers & Devices

### IAサーバー「Express5800シリーズ」の ラインアップにパッケージ型クラウドサービスを追加 【NEC】

NECは、IAサーバーブランド「Express5800シリーズ」において、従来型のハードウェアプラットフォームに加え、クラウドサービスをパッケージ化した「Express5800/CloudModel」の販売を開始した。

「Express5800/CloudModel」はNECのクラウド基盤サービス「NEC Cloud IaaS」の3年間の利用権をパッケージ化し、CPUやメモリー/HDD、OSを組み合わせた50種類のラインアップから選択可能にしたもの。サービス利用開始時の初期設定や移行作業などが容易で、中小規模システムのクラウド導入・運用に適したモデルとなっている。また、「NEC Cloud IaaS」の運用・管理を行うセルフサービスポータルにより、オンプレミス型のサーバーと一元管理を実現しており、運用コストの削減が可能。WEB/APサーバーやバックアップサーバー、ファイルサーバー用途のクラウドシステムの導入に最適なモデルとなっている。

最新インテル Xeon プロセッサ E5-2600v3製品ファミリーを搭載し、従来機比で性能を最大50%向上。また、メモリー性能やディスクI/O性能を向上させるとともに、「Express5800/R120f-2E」では最大26台、「同/T120f」では最大24台のHDD/SSDを搭載可能で、高速なI/O性能や大容量のストレージを必要とするオンプレミスのデータベースサーバー用途に適した製品となってい

る。さらに、ストレージブランド「iStorageシリーズ」と共通の新デザインを採用し、操作性や視認性を向上させている。

今後は、オンプレミスの従来型ハードウェアプラットフォームと、「Express5800/CloudModel」や「NEC Cloud IaaS」といったクラウドシステムを跨るハイブリッド環境において、バックアップ、災害対策・事業継続などの連携ソリューションを提供予定（2015年度上期に提供開始予定）。ハイブリッドシステムの構築を支援することで、システムの最適配置・最適運用をサポートする。

新製品の価格（税別）は以下の通り。

- 「Express5800/CloudModel（クラウドサービス3年パッケージ）」 356,100円～
- 「Express5800/R120f-2E（ラック型）」 403,000円～
- 「Express5800/R120f-1E（ラック型）」 381,000円～
- 「Express5800/T120f（タワー型）」 294,000円～



「Express5800/R120f-2E」（左上）  
「Express5800/R120f-1E」（左下）  
「Express5800/T120f」（右）

## 「BladeSymphony」のハイエンドブレードサーバー「BS2500」を販売開始【日立製作所】

日立製作所は、統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」のハイエンドブレードサーバー「BS2500」を新たに製品化し、販売を開始した。これにより、データのリアルタイム分析に適した高い処理性能を提供するとともに、「BS2500」に標準搭載する日立独自の仮想化技術の強化などを行い、高信頼なクラウド環境での基幹系システムにおけるデータ活用的高速化を実現する。

「BS2500」は、ビッグデータの高速処理や高信頼クラウドを支えるハイエンドブレードサーバーで、「高性能サーバブレード」と「標準サーバブレード」の2種を用意しており、用途やシステム規模に応じて、最適なサーバブレードを選択して利用できる。

「高性能サーバブレード」では、インテル Xeon プロセッサE7-8800 v2製品ファミリーなどを採用し、サーバブレードあたりの処理性能を従来製品比約2.3倍に向上。ブレード間SMP（複数のプロセッサが同等な立場で並列処理を行う処理）接続ボードを介して2台または4台のサーバブレードを接続することで高性能なSMPサーバーとして利用でき、大規模なインメモリーデータベース処理にて高い性能を実現する。

また、PCIe（コンピュータ内のデータ伝送路の標準規格）スロット数の拡大などによりデータ入出力性能を向上するとともに、ホットプラグ（サーバーや周辺装置の

電源を稼働させたまま、装置の部品などの着脱を可能とする機能）に対応するスロット数も拡大したことで、システムの可用性を高めている。さらに、サーバー論理分割機構Virtageにおいて、インメモリーデータベース処理を高速化する機能を追加。これらの強化により、基幹系システムのビッグデータ利活用を、信頼性の高いクラウド環境で高速に実現する。

あわせて、ミッドレンジブレードサーバー「BS500」で提供しているサーバブレード「BS520H」を強化し、販売開始した。インテル Xeon プロセッサ E5-2600 v3製品ファミリーの搭載により、従来プロセッサ比約1.4倍に処理性能を強化し、データ処理の高速化を実現している。

新製品の価格（税別）は以下の通り。

- 「BS2500（サーバシャーシ A1）」 1,594,000円～
- 「BS2500（高性能サーバブレード）」 2,860,000円～
- 「BS2500（標準サーバブレード）」 773,000円～
- 「BS500（BS520Hサーバブレード）」 505,000円～



ハイエンドブレードサーバー「BS2500」

## New Line up Computers & Devices

### アクティブ静電結合方式採用

### Windowsペンタブレット「dynabook Tab」を発売【東芝】

東芝は、業界で初めて「アクティブ静電結合方式」を採用し、紙のノートに書くように太さ約0.2mmの線で小さな文字を書くことができ、ビジネスシーンに役立つアプリケーション「Tru（トゥルー）シリーズ」を搭載したWindowsペンタブレット「dynabook Tab」シリーズ3モデル「dynabook Tab S90」「dynabook Tab S80」「dynabook Tab S68」を発売した。

これらの製品は、新方式「アクティブ静電結合方式」のペン入力技術と、ペン先位置の正確な検知技術を融合することで、太さ約0.2mmの線で小さな文字でもペン先とずれることなく書くことができる。これにより、小さな文字で紙やノート・手帳にメモや走り書きをするような手書き入力を実現した。

アプリケーションは、ビジネスシーンで扱う配付資料や議事内容などの情報を即座に記録、検索、編集、整理することができる「Truシリーズ」を搭載。ロック画面から画面をタップするだけで素早くメモができる「TruNote」は、最大100万ページ（1,000冊×1,000ページまで作成・保存可能）分のノートの中から手書き文字による検索で、素早く必要な情報が取り出せ、手書き文字をテキストデータに変換してメールで送信できる。

「TruCapture」は、本体に内蔵した約800万画素のWebカメラを使って、ホワイトボードや黒板、雑誌など

を撮影した画像データの形状を、自動的に補正。補正した画像は、「TruNote」に取り込み、その画像の上から書きこむことができる。雑誌などの活字を自動でテキスト変換するOCR機能も備わっている。これにより、必要な活字部分をテキスト変換し、メールやOfficeアプリケーションに貼り付けて利用することもできる。これらのアプリケーションは、標準搭載のOffice2013と連携しており、手書きの図形や表をOffice形式へ変換してWordやPowerPointなどに貼付可能となっている。

また、「TruRecorder」は、本体内蔵の2つのマイクにより録音した音声から、最大10人まで話し手を識別することが可能。録音データ再生時に、話し手ごとに色分けされて表示されるほか、特定の話し手の発言のみの再生や、再生スピードの変更ができるため、会議内容の確認や議事録作成などに役立つ。

新製品の価格は以下の通り。

- 「dynabook Tab S90」オープン価格
- 「dynabook Tab S80」オープン価格
- 「dynabook Tab S68」オープン価格



「dynabook Tab S90・S80」